

経営比較分析表（令和3年度決算）

鳥取県智頭町 国保智頭病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	13	-	ド透訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
6,572	12,639	第1種該当	-	10:1

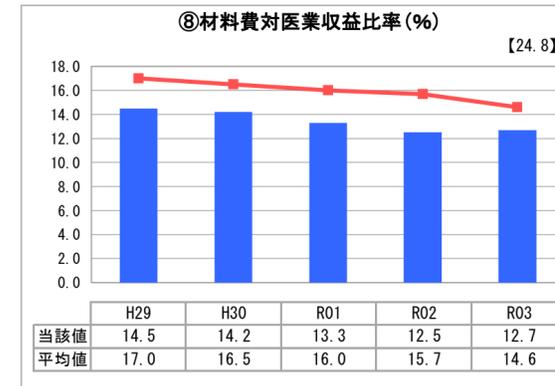
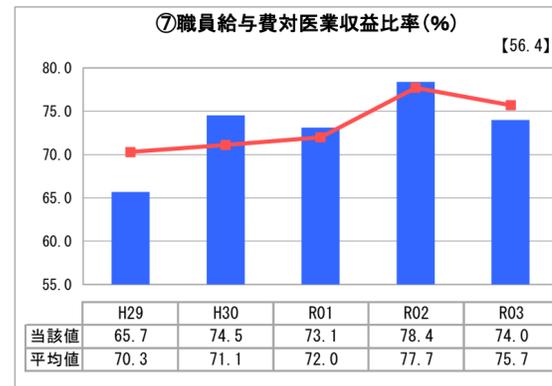
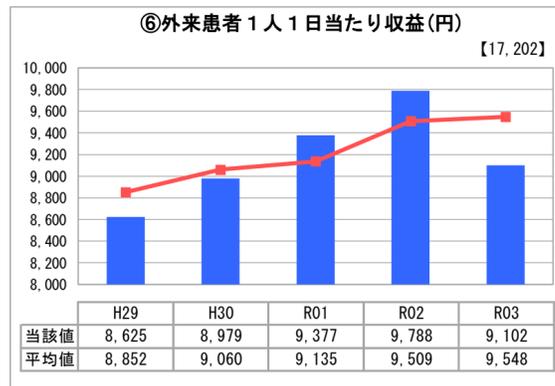
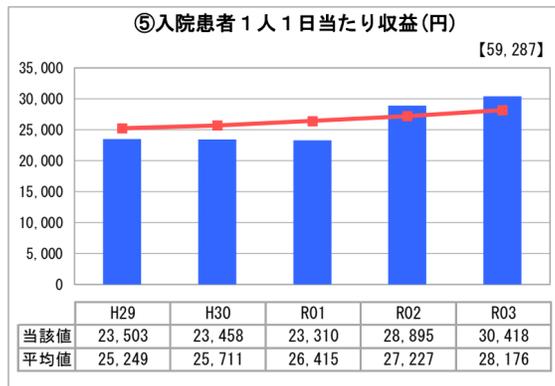
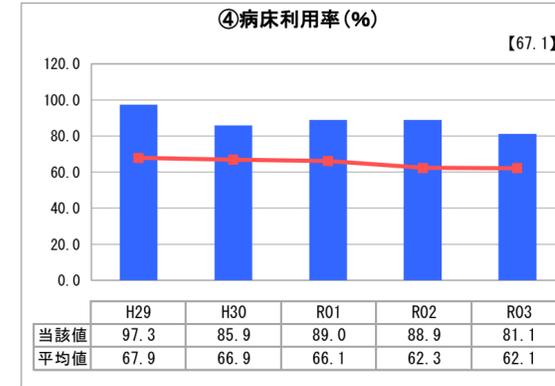
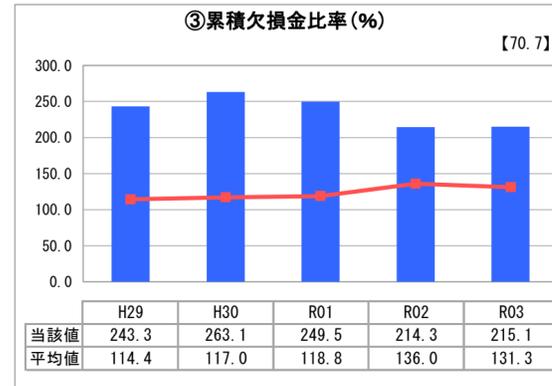
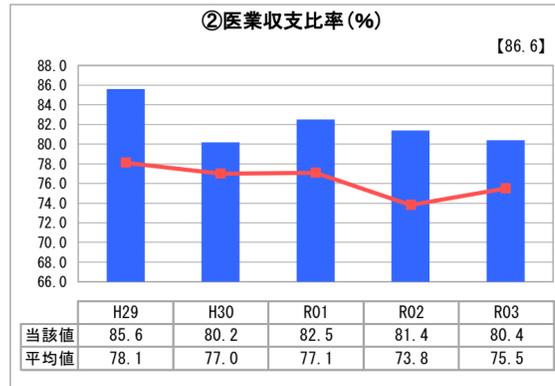
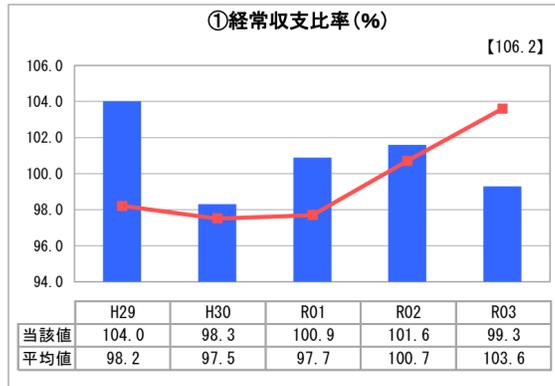
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

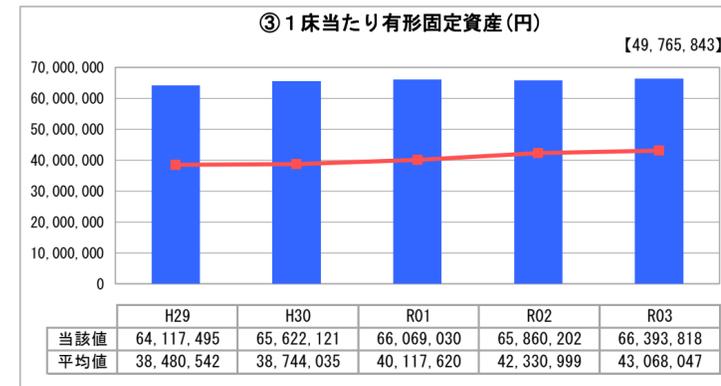
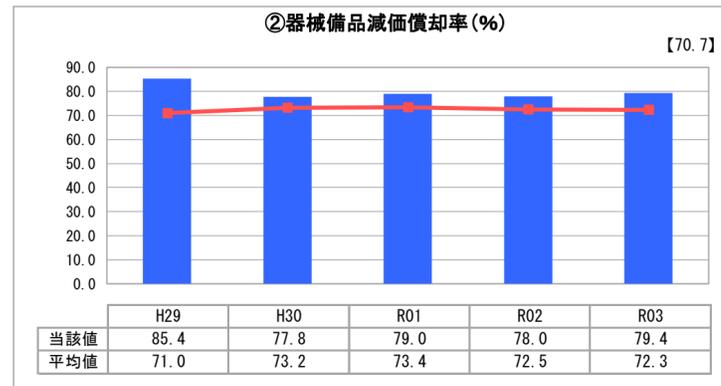
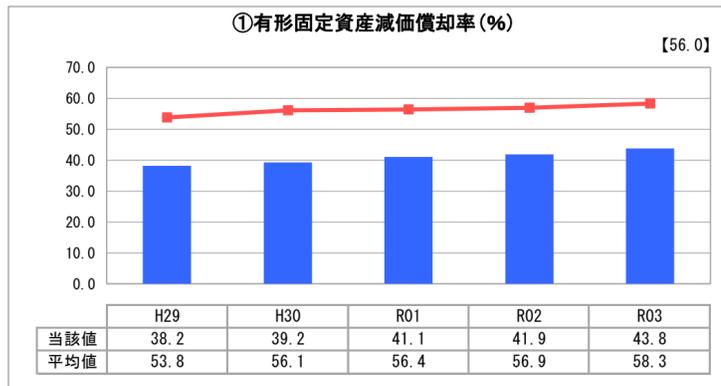
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
52	47	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	99
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
52	47	99

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

当院は、鳥取県東部、旧八頭郡内唯一の公的病院であり、小児医療、救急医療などの不採算部門や医療過疎地である山間へき地における地域医療を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

○経常収支比率と累積欠損金比率
経常収支比率について2年ぶりに100を下回った。累積欠損金比率は依然として高い状態であるが、今後も健全経営に努める。
○経常収支比率と医業収支比率
経常収支と医業収支に差がある。繰入金への依存度が高いと考えられるが、繰出基準内である。
○医業収支比率と病床利用率及び職員給与費対医業収益比率
医業収支比率、病床利用率が前年を下回ったが、新型コロナウイルスの影響を受けていると考える。職員給与費対医業収益比率は、昨年から減少したものの、高水準となっている。
○入院患者収益と材料費対医業収益比率は、類似団体平均を上回っている一方、外来患者収益は大幅に減少した。

2. 老朽化の状況について

・経常収支比率と有形固定資産減価償却率
いずれも、類似病院平均を上回っている。
器械備品減価償却率に大きな変動はないが、耐用年数を経過した医療機器が多く、引き続き計画的な更新が必要である。

全体総括

経常収支比率が100%を切ったが、新型コロナウイルス感染症が経営に影響していることは明らかである。新型コロナウイルス感染症の終息が見えないことに加え、医療圏域の人口減少や医療に対する住民ニーズの変化等により、今後自治体病院の経営は厳しくなると予想する。今後の診療報酬改定や、地域の医療ニーズを的確に把握し、中長期的な経営計画を改革プランに反映させ、健全経営に努めたい。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。